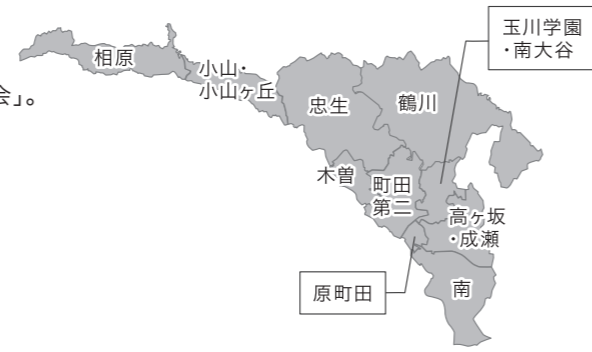


## まちをつなげる町田人

町田市内全10地区で設立されている、地域団体のネットワーク「地区協議会」。それぞれの地区で活躍している町田人の10編のストーリーをご紹介します。



|          |    |
|----------|----|
| 木曾       | 7  |
| 鶴川       | 8  |
| 小山・小山ヶ丘  | 9  |
| 南        | 10 |
| 町田第二     | 12 |
| 高ヶ坂・成瀬   | 13 |
| 相原       | 14 |
| 忠生       | 15 |
| 玉川学園・南大谷 | 16 |
| 原町田      | 17 |

各ページのバーコードを読み取ると、町田市ホームページの各地区協議会のページをご覧ください。



木曾



## 花壇でつなげる地元の輪

町田駅前通りを西に進むと、昔ながらの団地風景と新旧の住宅が混在する木曾地区が広がっている。ここで、花壇の整備活動を通じ、地域の事業者をつなげる活動をしているのが、木曾地区協議会の安倍正浩さんだ。木曾地区協議会の花壇整備活動は、「やってみよう」と集まってくる地元の事業者同士が、素顔で交流できる貴重な場所になっている。

『木曾商工ネット』という地元商店会での活動で、月一回朝8時から1時

間、道路の清掃とお花のお手入れをしています。事業者の集まりなので、一回花壇に寄ってから、仕事場へ出勤される方もいますよ。」と安倍さん。広い歩道への車乗り入れ対策として、東京都が歩道の中に作った円形花壇に花を植えるところから活動は始まったという。

「気軽に寄れる地域の場所ができて、若い人が来てくれるようになった。結果、多世代の交流も生まれた。1時間やったら解散、という手軽さもいいんじゃないかな。」花壇整備がきっかけと

なり、咲いた花をワークショップ用に提供した福祉施設との交流も生まれているそう。

印刷業を営みながら地域活動を行う安倍さん。きっかけは意外にも障がい者スポーツだった。「私はもともと水泳の競技者で、学生時代からずっとタイムを競うことをしてきました。社会人でコーチになってからもそれは変わらなくて。でもある日地域の障がい者水泳教室にボランティアで参加したときに、世の中の気づいていない世界の広さにハッとしました。それが地域活動に足を踏み出すきっかけとなりました。」

昨年の夏は、ひまわりを植える美化活動とコラボし、境川団地から交差点までヒマワリの花をいっぱい咲かせることに成功。「自分の地域だけで終わらず、良いチャレンジは他の地域にも広げていって、最後はまちが一つになればいいなと思います。」と、希望に満ちた笑顔で今後の展望を語った。



花壇整備活動で作った花壇。



花壇には手塩にかけて育てた花が咲いている。



一緒に活動しているみなさん。